日刊建設産業新聞（2018年10月19日付１面掲載）

【設計・監理＝オリエンタルコンサルタンツグローバルJV　施工＝錢高組JV

ナイル川源流橋が完成　大統領も出席し盛大に開通式】

ナイル川源流橋が完成

大統領も出席し盛大に開通式

橋長５２５ｍの３径間連続斜張橋

写真右から、錢高久善錢高組代表取締役社長、佐藤正久外務副大臣、亀田和明ウガンダ共和国駐箚特命全権大使、深瀬豊国際協力機構ウガンダ事務所長、米澤栄二オリエンタルコンサルタンツグローバル代表取締役社長

設計・監理＝オリエンタルコンサルタンツグローバルＪＶ

施　工＝錢高組ＪＶ

日本政府の円借款で建設されたウガンダ共和国ンジャ県で挙行された。式典には、ヨウェリ・ムセベニ大統領、モニカ・アズバ・ンテゲ公共事業・運輸大臣、佐藤正久外務副大臣、亀田和明ウガンダ共和国駐箚特命全権大使、深瀬豊国際協力機構ウガンダ事務所長、錢高久善錢高組代表取締役社長、米澤栄二オリエンタルコンサルタンツグローバル代表取締役社長をはじめ２０００人以上の招待客や５０００人を超す地元住民が出席し盛大に催された。

同工事は、オリエンタルコンサルタンツグローバル・エイト日本技術開発ＪＶが架橋位置の検討を含む実現可能性調査から詳細設計を実施し、施工監理は2社にＰｙｕｎｇｈｗａ Ｅｎｇｉｎｅｅｒｉｎｇ Ｃｏｎｓｕｌｔａｎｔｓを加えたＪＶが担当。錢高組・現代建設ＪＶが橋梁架設および取付け道路を含む工事一式を担当した。

ンジャ県は、隣国のケニアやコンゴ民主共和国、ルワンダなどを結ぶ北部経済回廊上に位置し、内陸国であるウガンダの物資輸送に極めて重要な地点となっている。しかし、ナイル川に架かる既設橋は片側1車線で交通量の増加に伴う慢性的な渋滞が発生し、また老朽化が深刻であるために補修も困難なことから同橋が計画された。建設にあたっては、秋篠宮ご夫妻が12年に日本・ウガンダ国交樹立50周年を記念して皇室として初の公式訪問された際に定礎式が行われ、14年の着工から4年半を経て開通に至った。

ウガンダ初の斜張橋となる同橋は、ヴィクトリア湖を源流とするナイル川の源流近傍に位置する橋長５２５㍍の３径間連続斜張橋で主塔高さ約80㍍の一面吊り構造。コンクリート主桁の斜張橋としてはアフリカ全土で最大級かつ東アフリカ最大の支間長を有する長大コンクリート斜張橋となる。